

なぎなた部優勝

全国高校総体へ



南陽新聞

平成27年
6月5日

制作・著作
南陽高校
新聞局



選手への激励と祝福



先日開かれた全国高校総体京都府予選会において、なぎなた部が三年ぶり十六回目の団体優勝という素晴らしい成績を取った。今回開かれたなぎなた部優勝報告会は、その団体優勝を称えるとともに、八月に開催される全国高校総体に向けて選手を激励するものである。報告会に参加したのは、予選会に参加した7人の選手となぎなた部の顧問である谷口先生だ。教師や生徒会、さらには一般生徒で花道を作り、優勝という快挙を祝福した。その後、校長先生からの激励の言葉や記念撮影が行われた。その中で新聞局は、この予選会に出場した選手たちに取材をした。

三年ぶり 十六回目

なぎなた部について

インターハイでは、「京都府の代表者として、敗れた他校がいることを忘れずに頑張りたい」と言っていた。

なぎなた部は、インターハイ上位入賞を目標に練習に取り組んできた。なぎなたは、個人種目だと思うわけだが、実は違う。試合時には、自分がまず一本取る気持ちで挑戦。一本とれるなら、確実にとり、取れなくても必死に反撃する。練習時でも、常に闘争心を持ち、集中して取り組んでいる。また、部員みんなできつい練習を乗り越えることで、自分を成長させかつ、チームの信頼関係も、向上する。試合では、チーム一丸となっていて、支えあっている。

校長先生による賞状授与



谷口先生のメッセージ

なぎなた部の優勝を受けて、顧問である谷口先生は、「ただただインターハイに出させてあげたかった。おめでとう」と嬉しそうにコメントされた。谷口先生は、全国優勝を目指さないとインターハイは目指せない。そして、そこに到達するための実力はつらい、苦しい時を乗り越えることで作られていく、と語られた。自分の可能性を諦めず、そこで終わりのないのだと、素晴らしい言葉である。



取材記録



先生への取材はよく行う新聞局ですが、生徒への取材は初めてで少し緊張してしまいました。上の写真は報告会後に設けられた新聞局向けの取材の一コマ。なぎなた部の方々と新聞局員

局員募集

現在、新聞局では局員を募集しています。活動日は、火・木・金曜日の三日間。活動時間は基本的に終業後から五時半〜六時まで。活動場所はC棟三階コンピュータ教室です。新聞、カメラ、コンピュータなどに興味がある人は是非遊びに来てください。

局長から

なぎなた部のみなさん優勝おめでとうございます。みなさんが一生懸命に練習している姿を見ることがあり、同じ南陽生としてとてもうれしく思います。今後大会に向けて頑張ってください。高校総体での活躍を願っています。